

令和3年大船渡市教育委員会第12回定例会会議録

1. 日 時

令和3年12月22日（水） 午後2時00分から午後3時05分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理人	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4. 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真
生 涯 学 習 課 長	山 岸 健悦郎

5. 議 事

なし

6. 報告事項

（教育次長）

- ① 令和3年大船渡市議会第4回定例会について

（教育総務課）

- ① 大洞貝塚国史跡指定20周年関連事業 令和3年度文化財めぐりの実施結果について

（学校教育課）

- ① 第5回市内小・中学校長会議の開催結果について
- ② 令和3年度市内小・中学校の冬休み期間について

（生涯学習課）

- ① 令和3年度市民IT講座「やさしいスマホ教室～LINEの基本から～」の実施状況について
- ② 令和3年度明治大学連携講座の開催について

7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和3年大船渡市教育委員会第12回定例会の開会を宣言する。
- ・令和3年第11回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・文化財めぐりの関連イベントとして開催する博物館特別展示や市民講座は、文化財めぐり参加者が文化財への興味関心をより高める良い企画だと思う。
- ・スマホ教室の申込が予定人数を大幅に超えている。今、まさに求められている講座ということだ。参加者の90%以上が65歳以上で、全体の65%を70歳以上が占めている。高齢者の学習意欲の高さを強く感じた。

(生涯学習課長)

- ・2回目も同様に取り組みたい。

(教育長職務代理人)

- ・2回目も全く同じ内容か。

(生涯学習課長)

- ・はい。1回目の抽選で漏れた方を対象に実施する。

(教育委員)

- ・盛小学校の授業交流会を参観した。どの学年も基本的学習習慣がしっかり確立されていて、担任教師のきめ細やかな指導の下にのびのびと真剣に学習に取り組んでいる様子が感じられた。特に1年生が驚くほど立派だった。
- ・授業交流会では児童のノートタブレットで撮影したものを電子黒板に映して発表していた。ICTの効果を更に高めるため、全学級、せめて学年毎に電子黒板を設置してほしい。
- ・学力検査について「NRTを4月に実施して、その結果分析をもとに次年度の担任が補充指導を行うよりも、CRTを12月頃に実施して補充指導を3学期に行うほうが、年度内に担任が自分の指導に責任をもって取り組める」という意見が出ている。また、Hyper-QU（教育・心理検査）について、年2回全学年での実施を要望する声も出ている。教育委員会として、どのように考えているのか。

- ・教職員の多忙化解消に向け、年度当初に年間計画や学校方針を作成し保護者等と共有することで、部活動指導の長時間化への抑制に繋げている。部活動が盛んになると勝つことを優先してしまうが、それをうまく抑止し本来の部活動の在り方を展開していくことは大事である。
- ・全国的に集団登校時の事故が増えている。通学路における合同点検は子どもたちの安全を確保するため来年度も継続し、出来れば年に複数回実施してほしい。特に、赤崎地区は常に道路工事をしていて子どもたちにとって危険な状況だと思う。

(学校教育課長)

- ・電子黒板はタブレットの活用に伴い、各学級1台が標準になると考えている。可能な限り配備していきたい。
- ・学力検査やHyper-QUを年2回実施し、成長を確認しつつ指導することは非常に有効だと認識している。一方、検査結果を生かしきれていない学校もあり、昨年度から事後指導を行っているところである。学校へ負担をかけず効果的に活用できるように指導していきたい。
- ・通学路点検は、その後の指導、関係機関との連携も含め、今後も継続して実施していくつもりである。

(教育長職務代理者)

- ・大船渡小学校の授業交流会では道徳を参観した。子どもたちが成長している様子や先生方が発問をしっかり練っていることが感じられた。特に6年生は感動的な授業の終わり方で私も授業に参加しているような気持ちになった。先生方は自信を持って普段の授業に臨んでほしいと思う。

(教育長)

- ・例年、通学路の合同点検を年1回実施している。今年度は八街市の事故発生に伴い、9月にも再度点検したところである。

(教育委員)

- ・先生方の時間外勤務状況について、残業ゼロを目指しているのか。

(学校教育課長)

- ・ゼロは難しいかと思うが、前年度より減らしていきながら段階的に削減していきたい。

(教育委員)

- ・9月と比較し10月の時間外が増えているのは、行事の関係か。

(学校教育課長)

- ・10月、11月は学習発表会や文化祭がある。行事は関係しているが、各学校で取組を工夫し、昨年度よりも削減傾向にあると感じている。

(教育長職務代理者)

- ・校内衛生委員会を開催していない学校が5校もあり驚いている。できるだけ早い時期に開催し、職員の勤務環境の改善等について話し合い、教職員間の共通理解を図っていくことが求められる。教職員の多忙化解消にも大きく繋がっていくことである。

(学校教育課長)

- ・職員の業務は教材研究や授業の準備に占める割合が大きく、データの共有や教え合うことで改善している学校もある。学校内、学校間のコミュニケーションを図っていく

たい。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

(教育長)

- ・議案がないことを確認後、令和3年大船渡市教育委員会第12回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員